



おらが湊鐵道応援団報

第139号

勝田 | 阿字ヶ浦

新ラッピング列車が運行開始



10月13日にキハ3710-01が新ラッピング車輻の仲間入りをしました。湊線の存続から応援団活動に携わってきた株式会社井上工務店会長の井上 薫氏が、更なる湊線と沿線の飛躍への願いを込め、同氏の旭日双光章受章祝賀会があったこの日から運行となりました。ラッピングの絵柄には湊線のほか、反射炉や常陸那珂港などが描かれています。同社で飼われているワンちゃん2匹(Papu&Momo)も新登場! 駅猫おさむ&ミニさむ同様に皆さんよろしくお祈りします。湊線のラッピング車輻はこれで4輛になりました。

初詣・初日の出は湊線で
急行あじがうら号・快速なかみな号運行
あじがうら号前売り乗車券12月1日(土)より発売

駅名菓 トレンシェがデザインセレクション知事選定表彰



県内の優れたデザイン商品などを表彰する、いばらきデザインセレクション2018で、ハートケアセンターひたちながが製造販売する「駅名菓 トレンシェ」が応募129件の中から6件の知事選定のひとつを受賞したことが10月11日に発表されました。トレンシェは湊線10駅のユニークな駅名標をモチーフにした手作りフィナンシェで、10種類のフレーバーがあります。デザイナー・常磐大学助教の小佐原孝幸さんの協力が開発されました。5個入り2種類で各1,620円です。問合せはハートケアセンター(029-264-1500)へ。

おもな秋の沿線イベント情報

期 日	イ ベ ント	会 場
11/1(木)~11(日)※11/5~7休み	虎塚古墳石室壁画秋季一般公開	中根駅より徒歩30分
11/3(土)・4(日)	ひたちなか市産業交流フェア	ひたちなか市総合運動公園
11/10(土)・11(日)	那珂湊コミセン「コミ祭り」	那珂湊体育館周辺
11/10(土)・11(日)	しおさいまつり	平磯学習センター
11/11(日)	わんわんライド湊線	湊線
12/4(火)~来年1/27(日)	那珂湊駅前イルミネーション	那珂湊駅前

ローカル鉄道フェアに今年は7社

11/3・4の産業交流フェアでおこなわれる「ローカル鉄道フェア」に今年はこれまで最多の7社のローカル鉄道が展示します。7社は青い森鉄道、由利高原鉄道、銚子電鉄(3日のみ)、野岩鉄道(3日のみ)、真岡鉄道、鹿島臨海鉄道(4日のみ)と、ひたちなか海浜鉄道です。お楽しみください。

ヌーポートレイン2018
11月18日(日) 那珂湊駅発18:43
集合 同駅18:30。全線1往復 終着20:15
参加費 お一人様 4,500円
参加費には運賃・飲み物・料理代金が含まれます

湊線の貸切車輻で、できたて新酒の「ボジョレー・ヌーポー」とワインに合ったお料理(おつまみ)を楽しむ企画です。今年のワインの出来は?ソムリエの解説やワインが当たる抽選会もあります。ヌーポー以外のワイン、日本酒、ソフトドリンクも用意してあります。申込み・問合せは11月15日までに春日ホテル(029-262-3164)または升留酒店(029-262-3000)まで。

ハマギクが見頃になりました

秋の訪れとともに、市の花ハマギクが見頃です。開花が始まった10月13日には那珂湊駅西側花壇の整備を地元自治会の皆さんが早朝から大勢でしてくれました。また、阿字ヶ浦駅構内や殿山駅などでも自治会をはじめ旧那珂湊二高PTAのOBの方々が入力を行っています。ありがとうございます。



駅的环境整備 いつもありがとうございます

駅名	11月4日(日)	12月2日(日)
中 根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	小川 龍之口町	神敷台 部田野小谷金 十三奉行
殿 山	七町目・牛久保町	和田町・殿山町
平 磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯 崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅・高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

秋の硬券フリー切符&応援券を発売中

湊線応援券
フリー切符900円+応援券100円
セット価格 1,000円
 売上げの一部は応援団の活動費に使われています。

野菜と干物の朝市 ■11月4日(日)
毎月第一日曜日に開催 ■那珂湊駅1番線ホーム
 午前9時~11時頃まで

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」8,820名を達成しました!

【海浜鉄道関係】
 ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
 ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>

【応援団関係】
 ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

「応援団報」カラー版をパソコンでご覧ください

那珂湊地区でご覧に協力いただいている「応援団報」は墨1色刷りですが、応援団ホームページ(<http://minatosen.com>《湊線どっと混む》)には、フルカラー版を毎月末にアップしています。パソコンから自由にダウンロード=印刷もできます。ぜひご覧ください。また、配布も自由です。

特集 海辺の鉄道め話

9月20日から24日まで水戸芸術館で公演された「海辺の鉄道め話」には公演後、たくさんの感動のメッセージが応援団にも寄せられました。作・演出の詩森さんと、ミニさむを演じた田島さんに劇の舞台裏などの寄稿をいただきました。また公演の感想を栗田さんにまとめていただきました。

海と空に繋がる3.1キロが楽しみ

脚本・演出 詩 森 ろ ば さん

あんな愛らしいお芝居なのに、稽古はなかなかたいへんで、俳優もスタッフも、よいものを創るために満身創痍。8月末に水戸に来てから、毎日毎日稽古しかできなくて、東京から持ってきた私物の自転車(ロードバイク)も、劇場よりちょっと遠いスーパーに行くのに役立つくらいでした。中根の遺跡を自転車で巡ろうと思っていたのに。



そうやって作ったお芝居が、あんな風に喜んでいただけ、出来ない作者としてはこれほど嬉しいことはありません。

最初から最後まで吉田社長はじめとする湊線の方々や、団長率いる応援団、そして、沿線の美しい景色からも貰いっぱなしでしたが、伝えたいことがあるとしたら、湊線と応援団、すごいことをやってるんだよ、ということでした。たぶんみなさんが自分で思っているよりずっと。

2024年、俳優たちと、海と空に繋がる3.1キロを乗りに行くことを楽しみに、大好きになってしまった湊線にひとときのさようならを言いたいと思います。このお芝居がすこしでも、湊線が次の10年を走り抜ける力となるように祈っています。

風景を思い浮かべると自然に駅名が...

ミニさむを演じた俳優 田 島 亮 さん

恐れ多くも「ミニさむ」を演じさせていただきました、serial numberの田島亮です。

劇のプロローグで、全員で女子高生になり、湊線の各駅の特徴を歌とダンスで説明するシーンがあります。僕はあのシーンが大好きでした。

ミニさむを演じる僕の役目は、一つ一つの駅名を叫ぶことでした。稽古が始まった頃は度々台本を見直して順番などを確認しながらやっていましたが、何度も湊線に乗り、社員さんや応援団の方々とお話させていただき、本番の頃には、沿線に関わる人々の顔や、その風景を思い浮かべると自然に駅名が出てくるようになりました。心の底から嘘のない気持ちで台詞を言える瞬間というのは、俳優にとって最も幸せな瞬間です。



そんな素敵な体験をさせていただいた、湊線に関わる全ての皆様に感謝申し上げます。実は僕はまだミニさむに会えていないので(笑)今度こそ会いたいと思っています。

楽しくてすばらしい劇でした

関 戸 栗 田 裕 子 さん

舞台の上には勝田から阿字ヶ浦までの駅と線路と湊線が走る。廃線の危機を乗り越え、震災も乗り越え、延伸計画も打ち出された湊線。それに関わってきた方々の行動と思いが丁寧に描かれ、それでいてダンスや歌を織りまぜてテンポよく伝わって来る、楽しくてすばらしい劇でした。劇中の「吉田社長との出会いが私の人生を楽しくしてくれた」という佐藤団長の台詞に、応援団が活動を始めたころ、「何かやろうとしたら批判されるのは当たり前」といつも笑っていた佐藤団長を思い出し、とても感動しました。

私一人の感想では偏ってしまうかとも思い、数人の友人に感想を聞いたところ熱いメールがたくさん届きました。その一部を紹介させていただきます。

※地元で素敵な物語があり、それが素晴らしい舞台となったことをうれしく思いました。猫たちがとってもかわいかったー!

※23日の公演を最前列で鑑賞しました。出演者の汗、息遣い、瞬き、セリフの抑揚などが伝わり感動しました。それに加え客席からの笑い、感動のすすり泣きの声を背中から聞き、賢沢にも全身でこの公演を鑑賞することができました。ただの廃線危機を免れた鉄道物語でない、世界に誇れるメッセージ性がある公演だと思いました。

※いかに力を合わせて海浜鉄道を守ってきたのかを知りました。2匹のねこの視点から物語の世界へ引き込まれました。演出のすばらしさ、緻密な情報収集、皆さまの熱意、感動しました。

※小学生のワークショップにより作られた舞台セットが素敵だった。

※鉄道が駅と駅を繋いでいるだけでなく、人と人をもつなぐ役目をはたしているんだなあと思いました。

※泣けました。ひたちなか海浜鉄道を応援し続けたいと思いました。ぜひ再演を!